

東亜合成株式会社の事業適応計画のポイント

2025年11月27日

- 東亜合成グループは、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的成長の取組みとして、「事業を通じた社会的価値の提供」、「永続的な企業基盤の強化」を目指しています。
- 気候変動抑制に向けた取組みとして、省エネルギー、生産効率化などによるGHG排出量削減に注力しており、今回の計画では、横浜工場・名古屋工場・坂出工場で設備投資を行い、製品の製造時に排出されるCO2の削減に努め、高付加価値の製品製造を通じて、付加価値の創出と環境への負荷低減を両立し、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを実施します。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年11月 ~ 2027年12月

2. 生産性向上目標

横浜工場の炭素生産性を40.5%向上させる。

名古屋工場の炭素生産性を27.3%向上させる。

坂出工場の炭素生産性を27.3%向上させる。

3. 前向きな取り組みの内容

横浜工場にて、非化石由来の蒸気有効利用を目的としたボイラ更新投資や次亜塩素酸ソーダの製造設備の増強等を実施する。

名古屋工場にて、リチウムイオン電池関連部材の製造設備の増強と苛性ソーダ電解装置の更新等を実施する。

坂出工場にて、アクリル酸ナトリウムの製造設備の増強等を実施する。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<各工場の外観>



横浜工場



名古屋工場

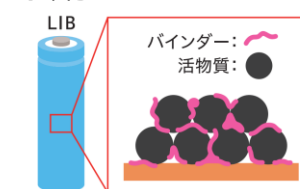


坂出工場

<本計画で製造する商品>

リチウムイオン電池関連部材

負極の膨張抑制による電池の長寿命化



カセイソーダ

産業における基礎的な原材料として、化学繊維、紙・パルプ、化学薬品など様々な用途に幅広く使用されています



次亜塩素酸ソーダ

上下水道やプールの滅菌などに使用され、不純物である塩素酸や臭素酸を抑えた製品で安心・安全な水の提供を支えています

